

大開口・大空間に安全を確保した

「木造門型フレーム」

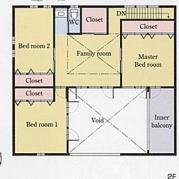
高精度の集成材とオリジナル金物を組み合わせた「木造門型フレーム」工法は、

壁全面の床から天井まで届く大開口や間仕切りのない大空間を実現。ビッグリビングをはじめ店舗用空間、

ビルトインガレージ、高天井、吹き抜けなど思い描く自由な夢の空間を可能にしています。

木造門型フレームが 自由設計の夢を抜けます。

ヨコにもタテにも大きな開口部や壁のないワンフロアの大空間など木造工法では考えられなかった住まいが実現できる門型フレーム。たとえば南面からたっぷりの採光、庭と一緒に作った広々リビングをはじめ高天井、吹き抜け、ビルトインガレージまで思い描く自由な夢の空間を可能にしています。



●センターコート（中庭）を望む大開口
2階に配置されたファミリールームと洋室、そして
インナーハル（内廊下）を含む各室に
配置した大開口の窓から中庭に向かって光と
風を取り込むことができます。



●LDK
間口8.1m×6mに及ぶ門型フレームで、間仕切りのない大空間が可能となり、開放的な空間を
創造します。
門型フレームにより実現した和室の坪庭です。
日本古来の伝統的な和のいづらを演出しています。

New
style

木造門型フレームは 木造住宅の新しいカタチ

Space

大空間、大開口の確保！

●大広間、車庫、店舗、事務所やスケルトンインフィル住宅がプランニングが可能。

和風住宅の大きな広縁開口部、吹抜、
2台車庫など大開口が可能。

必要な箇所に1フレームから採用が
可能。

Planning

狭小地プランに最適

●狭小地プランの通路面における、大
開口、大空間を確保。

1FをS造やRC造として建築が可能。
物を木造3階建てとして建築が可能。

基礎工事は従来通りの施工が可能
などの工事、地盤改良など・地中梁設置
などの追加工事が発生しにくくなる。

Technique

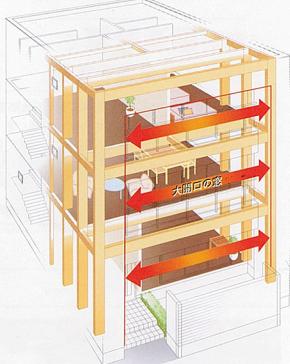
耐震補強、リフォーム、
車庫増築に最適！

●リフォームにおける大空間確保、
大開口、車庫等の為の耐震補強が可能。
現在の建築基準に適合しない建物の、
耐震、耐風補強に威力を発揮。

鉄骨やRC造との混構造に比べて全
木造なのでコストパフォーマンス
が高い。

木造門型フレームは こんなに間口が広がります。

木造門型フレームは1階のみの1層フレーム、1・2階の2層フレーム、1・2・3階の3層フレームなど、プランに合わせて必要なところに必要な本数だけを使用することで、自由設計の夢を抜けます。



「木造門型フレーム」の独自工法と在来工法の比較。



一般的な木造の在来工法のまま
新開発の門型フレームを木造工法にプラスすることで、大開口の
空間を仕切らないの大空間、ビルトインガレージなどが可能になりました。
▲大開口が可能

従来の耐力壁に頼
った強度設計のため、強度を確保するため十分な柱や梁スペースが
必要となり、開口スペースや大空間の確保が困難となります。

狭小地のビルトインガレージ付3階建住宅を実現。



●玄関・車庫
在来工法では困難な狭い玄関アプローチ、
車庫（1台）が納まるスペースを確保。

●LDK
2層フレームを設けることで、間口が大きく
採られた広がりのある、明るくやさしいLDK
スペース。

柔軟な設計力が可能にした 在来工法・2×4工法での活用法。

木造門型フレームは、構造がシンプルで曲げモーメントにより生じる圧縮応力、引張応力の両方に十分に耐え得る強度を備えた柱脚構造、および柱と横架材との接続構造並びにフレーム構造を提供しています。木造輪組工法と組み合わせ、必要なところに必要な本数だけを使用する“木造門型フレーム”は、耐震性能の向上だけでなくコストパフォーマンスにも優れ、新築だけでなくリフォームにもその威力と可能性を発揮します。



工法別仕様一覧表

	1層(階)フレーム	2層(階)フレーム	3層(階)フレーム	基礎	集成材
在来工法	○	○	○	ベタ基礎(通常の基礎工事)	E120・F330以上(JAS規格)
2×4工法	○	×※	×※	ベタ基礎(通常の基礎工事)	E120・F330以上(JAS規格)

*2×4工法の2層・3層フレームについては現在はまだ認められておりません。